

# 緊急

# シンポジウム

「モラリスト×エキスパート」を育む。

# 主催 立正大学

ウクライナ情勢は、単にヨーロッパの問題に留まらず、国際秩序を揺るがす大きな問題となっています。欧米諸国を中心とした対ロシア経済制裁が発動され、日本も対ロシア制裁と対ウクライナ支援に乗り出そうとしています。

同時に、経済的相互依存関係が深まっている今日、この影響は単にウクライナやロシアに留まりません。対ロシア制裁が本格化すれば、ヨーロッパ経済への影響は避けられません。それは、ユーロ圏、さらには世界の金融市場やエネルギー市場にも影響を与えかねません。

また、日本が近隣諸国との間で抱えている領土問題を考える上でも、クリミア問題について正確な認識を持たねばなりません。

今やウクライナ問題は、日本の外交やエネルギー安全保障にも関わる問題となっているのです。日本は、どう対応すべきなのでしょう。まさにこうした時にこそ、ウクライナ情勢の「冷静な分析とバランスのとれた認識を共有する」ことが必要とされています。

これは立正大学の建学の精神や「モラリスト×エキスパート」というブランドビジョンにも合致するものです。

そこで立正大学では、ユーラシア研究所、EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)、ジャン・モネ EU 研究センター(慶應義塾大学)の後援、および専門家の皆様の協力を仰ぎ、「緊急シンポジウム ウクライナ危機はなぜ? 世界は変わるのか?」を企画いたしました。

# ウクライナ危機はなぜ? 世界は変わるのか?

日時 2014年4月21日(月)  
13:30~17:30(開場 12:30)

場所 立正大学 石橋湛山記念講堂

参加費無料

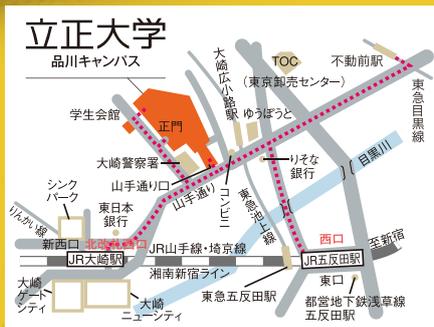
## 品川キャンパス

〒141-8602

東京都品川区大崎 4-2-16

大崎駅・五反田駅より徒歩 5分

大崎広小駅より徒歩 1分



### 参加申込み・お問い合わせ

- ①氏名(漢字)、②氏名(カナ)、③住所、④電話番号、⑤所属、⑥シンポジウムで聞きたい内容あるいはテーマに関するご質問を明記の上、下記にお申し込み下さい。

立正大学研究推進・地域連携センター Eメールアドレス:sangakukan@ris.ac.jp

## プログラム

13:30~13:35 山崎和海(立正大学学長)主催者挨拶

### 第1部 ウクライナ危機はなぜ?

13:35~13:50 問題提起(論点整理)

コーディネーター小森田秋夫(神奈川大学法学部教授、ユーラシア研究所長)

服部倫卓(一般社団法人ロシアNIS貿易会・ロシアNIS経済研究所次長)

藤森信吉(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員)

14:10~14:20 蓮見雄(立正大学経済学部教授、ユーラシア研究所事務局長)

14:20~14:30 下斗米伸夫(法政大学法学部教授、元(財)日本国際政治学会理事長)

14:30~14:40 <休憩>

14:40~14:50 小泉悠(未来工学研究所研究員、軍事アナリスト)

14:50~15:00 前田弘毅(首都大学東京都市教養学部准教授)

15:00~15:10 川崎恭治(一橋大学国際・公共政策大学院長)

15:10~15:20 石郷岡建(元日本大学総合科学研究所教授、元毎日新聞社モスクワ支局長)

15:20~15:30 石川一洋(NHK解説委員)

15:30~15:40 <休憩>

### 第2部 世界は変わるのか?

15:40~17:10 会場からの質問を踏まえた討論

17:10~17:25 コーディネーターによる総括

17:25~17:30 閉会挨拶

### 付記

- ・会場は飲食禁止です。
- ・終了時間を18:00まで延長する場合があります。
- ・報告の順番が変わる場合があります。
- ・時間の制約があり、会場からの質問は質問用紙に限らせて頂きます。